



第45回全国高等学校柔道選手権大会

会期 令和5年3月20日(月)21日(火)

会場 日本武道館

・団体戦 ベスト16

・個人戦 甲地(81キロ級)片山(無差別級)ベスト16

20日の個人戦から大会が開幕。福島県の代表は男子五階級すべて県予選を勝ち抜いた田村高校の選手となった。田中楓之樹(60キロ級)、菅野礼登(66キロ級)と優勢で惜敗。菅野桜暉(73キロ級)は準優勝の新本選手(兵庫・報徳学園)に僅差で敗退。甲地来希(81キロ級)は一回戦を縦四方固めで快勝。続く2回戦は延長戦までもつれたが払い巻き込み(06:11)で仕留め勝利。3回戦は強敵の奥田選手(広島・崇徳)に果敢に攻め相手に消極的の反則が行くかと思われたが、一瞬の隙をつかれ技ありを取られ惜敗した。片山雄心(無差別級)は初戦から担ぎ技を中心に積極的な攻めで1、2回戦を突破。3回戦は手塚選手(神奈川・東海大相模)と対戦。果敢に背負い投げを仕掛けるも体重差のある相手に寝技で敗れた。

「個人戦試合」



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
吉川 勝大 (北海道・北海道高等学校)	勝	技あり 3:00	勝	田中 楓之樹 (福島県・福島県立田村高等学校)
I W P	0 1 0		I W P	0 0 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
菅野 礼登 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	技あり 3:00	勝	菅多 穂太 (静岡県・吉川共立高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	0 1 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
菅野 桜暉 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	僅差 3:00	勝	新本 慶 (兵庫県・報徳学園高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	0 0 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
甲地 来希 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	縦四方固 0:59	勝	村上 力仁 (京都府・京都文教高等学校)
I W P	1 0 0		I W P	0 0 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
片山 雄心 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	僅差 3:00	勝	井上 雅也 (岐阜県・大垣日本大学高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	0 0 1



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
南原 怜生 (香川県・香川県立高松南高等学校)	勝	払巻込 6:11	勝	甲地 来希 (福島県・福島県立田村高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	1 0 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
玉城 大和 (沖縄県・沖縄尚学高等学校)	勝	僅差 3:00	勝	片山 雄心 (福島県・福島県立田村高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	0 0 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
甲地 来希 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	技あり 5:26	勝	奥田 春地 (広島県・物産高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	0 1 0



氏名	勝敗	試合内容 試合時間	勝敗	氏名
片山 雄心 (福島県・福島県立田村高等学校)	勝	崩壊寝固 1:12	勝	手塚 春太郎 (神奈川県・東海大学相模高等学校)
I W P	0 0 1		I W P	1 0 0

21日は団体戦。田村は一回戦東海大札幌と対戦。先鋒、次鋒で先取る田村のスタイルで勝利。続く二回戦は開星。中国大会で作陽と接戦、前日の個人戦の優勝者もメンバーで油断のできないチームだったが、一回戦からの勢いは止まらず、蓋を開ければ3-1で勝利。ベスト8をかけた三回戦は予想通り研究してきた作陽と対戦。ほとんどの者が自身よりも一回り二回り三回りと大きい相手に挑んで向かっていった。しかし、二回戦からの勢いはここまでとなり、今大会はベスト16と入賞まであと一歩だった。夏の北海道インターハイでは更なる結果を期待している。

試合場-順	●田村 (福島県)	2-1	●東海大札幌 (北海道)
3-3	氏名	勝敗 試合時間	氏名
先鋒	甲地 来希	○ 合せ技 1:28	廣田 聖也
次鋒	片山 謙心	○ 反則負け 1:11	鈴木 岳精
中堅	齋藤 翔惺	技あり 3:00	佐藤 虎白
副将	徳平 晃大	引き分け 3:00	山本 慎
大将	渡邊 壱嘉	引き分け 3:00	松井 達也

試合場-順	●開星 (鳥根県)	1-3	●田村 (福島県)
3-5	氏名	勝敗 試合内容 試合時間	氏名
先鋒	山岡 大悟	僅差 3:00	甲地 来希
次鋒	井野川 幹太	裏投げ 2:17	片山 謙心
中堅	田窪 剛共	引き分け 3:00	齋藤 翔惺
副将	藤本 暖留	僅差 3:00	徳平 晃大
大将	森崎 佑大	技あり 3:00	渡邊 壱嘉

試合場-順	●作陽 (岡山県)	3-0	●田村 (福島県)
3-11	氏名	勝敗 試合内容 試合時間	氏名
先鋒	中田 泰輔	引き分け 3:00	甲地 来希
次鋒	長内 健多	○ 合せ技 2:55	片山 謙心
中堅	野坂 英矢	引き分け 3:00	徳平 晃大
副将	高橋 翔	○ 上四方回 0:34	齋藤 翔惺
大将	工藤 瑠希	○ 内股 1:22	渡邊 壱嘉
代表			

バーで油断のできないチームだったが、一回戦からの勢いは止まらず、蓋を開ければ3-1で勝利。ベスト8をかけた三回戦は予想通り研究してきた作陽と対戦。ほとんどの者が自身よりも一回り二回り三回りと大きい相手に挑んで向かっていった。しかし、二回戦からの勢いはここまでとなり、今大会はベスト16と入賞まであと一歩だった。夏の北海道インターハイでは更なる結果を期待している。

「団体戦試合」

